

激動の2012年を総括し、健食市場の未来像を示す

# 世界に取り残される日本の健食市場

～健食市場復活の道筋を探る～

2012年は、消費者庁の「食品の機能性評価モデル事業」の結果発表が行なわれるなど、業界には大きな動きがありました。しかし、行政機関に「いわゆる健康食品」の表示のあり方を見直す動きは見られず、業界も依然として玉石混交のまま変化はありません。年々、医療費が膨らむ中、欧米と比較してセルフメディケーションの重要性も国民に浸透しません。

この状況をどうすれば打開できるのか。本セミナーでは、予防医学や栄養学を専門分野に「機能性おやつ」プロジェクトを世界に発信する東京海洋大学特任教授の矢澤一良氏、海外健食市場に精通する(株)グローバルニュートリショングループの武田猛氏、マスコミの立場から食品添加物や放射能問題の報道を続ける毎日新聞社生活報道部の小島正美氏の3人を講師に招き、それぞれの立場から分析や提言を行なっていただき、日本の健食市場を復活に導く道筋を探ります。

矢澤氏には、消化不良に終わった機能性評価モデル事業の総括。また、予防医学への健食のアプローチの仕方など「食」と「医」の抱える課題、展望について語っていただきます。武田氏には、GMP認証工場の視察報告や海外と日本の市場比較から見てくるさまざまな問題点を検証していただきます。また、小島氏には、東日本大震災当時の「報道のあり方」を踏まえて、国民の健康に寄与すべき「健康食品業界の適正な情報提供のあり方」について、提言していただきます。

## セミナー カリキュラム

**第1部** 13:00～14:30

なぜ日本は世界から取り残されるのか～  
欧米視察を踏まえて

グローバルニュートリショングループ 武田 猛 氏

**第2部** 14:40～16:10

マスコミから見た健康食品業界～  
報道のあるべき姿

毎日新聞社 生活報道部 小島 正美 氏

**基調講演** 16:20～17:50

予防医学を日本に普及させるために～  
機能性評価モデル事業の教訓を活かして

東京海洋大学特任教授 農学博士 矢澤 一良 氏

17:50～18:20 質疑応答

18:30～ 懇親会(データ・マックス東京支店 忘年会)

## 日 時

12月19日(水) 13:00～(開場12:30)

## 場 所

主婦会館プラザエフ

(東京都千代田区六番町15番地 TEL:03-3265-8111)  
東京メトロ南北線四谷駅、丸の内線四谷駅、JR中央線四谷駅から徒歩

## 定 員

80名様限定

## 参 加 費

6,000円(税込) ※I・B購読会員様は3,000円です

※お申込み受付後、ご請求書を郵送いたしますので開催前日までに  
お振込みください。開催当日、会場での現金の受け渡しはご遠慮致します

お問い合わせ：(株)データ・マックス ヘルスケア事業部(担当:山本、田代) TEL:03-6908-1651

お申し込みは下記にご記入の上、



**03-6908-1655**

までお送りください

御社名 団体名	ご担当者名		
部署	役職	ご参加人数	人
〒 ご住所		TEL	
		FAX	
E-Mail	@		
お支払い方法(どちらかに <input checked="" type="checkbox"/> ください) <input type="checkbox"/> 通常参加者(税込6,000円) <input type="checkbox"/> I・Bクラブ会員様(税込3,000円)			
懇親会に参加ご希望の方は <input checked="" type="checkbox"/> してください <input type="checkbox"/> 懇親会に参加する(参加費:税込4,000円)			